

久保田晃弘：コードを記述し、実行し、保存する

KUBOTA Akihiro: Writing, Executing, and Recording Code

登壇者：

永田 康祐（美術家／東京藝術大学大学院映像研究科）

市川 創太（建築家／doubleNegatives Architecture Ltd.）

松川 昌平（建築家／慶應義塾大学環境情報学部准教授）

モデレーター：松井 茂

テーマ

工学を背景に持つ久保田晃弘は、メディア表現の手段としての単なる「コード」ではなく、「実行」という概念を持つ、これまでになかった特殊な言語体系として、コード自体をメディア表現の根幹として注目しています。換言すれば、メディア・アート研究の本質として、コードによる「実行的価値」への注目を促しています。アプリケーションのブリコラージュとして、メディア表現の背景に退いたようにもみえる「コード」を敢えて主題とし、コードが実行した作品の表象や挙動をいかに記録すべきか？ 新しい作品概念を議論します。



「久保田晃弘資料」音響合成用プログラミング言語SuperColliderによるライヴ・コーディングに関するコード、音源、記録写真、記録映像（2005～2009年）に関するアーカイブシステムAtoMによる記述およびファイル共有の提案。実行可能なコードを含む電子データを対象としたアーカイブの試み。図書館内、端末による展示。